

令和8年度

予算

令和8年度当初予算が3月定例議会で可決されました。

一般会計の予算総額は31億1,000万円で、前年度に対して2,700万円、0.9%の減額となりました。特別会計及び水道事業会計については下記のとおりです。

「神崎町第5次総合計画・後期基本計画」の着実な推進を図るため、限られた財源の中でも優先度、重要性を十分検討し、適正な予算規模となるよう予算を配分しました。

ここでは、新年度の予算と主要事業についてお知らせします。

歳入

主な歳入は、町税が7億4,346万円、地方交付税は10億2,500万円で、歳入総額の約5割を占めています。

国県支出金は3億7,979万円で、前年度に比べ46%の減となりました。これは、防災・安全交付金の減によるものです。

繰入金は、財源対策として、公共施設整備基金及びふるさと応援基金などから4億1,011万円を計上しました。

その他の寄付金では、前年度の実績に基づき、ふるさと寄附金の増を見込んで1億3万円、99.9%の増となりました。

歳出

新年度の主要事業は、「まちの活性化」として、「町道成田神崎線道路新設事業」や「町道毛成堀籠線道路改良事業」などの建設事業を継続していくほか、道の駅を核とした発酵によるまちづくりを町内外に発信するため「発酵×オーガニック」によるプロモーション支援業務の費用を計上しました。

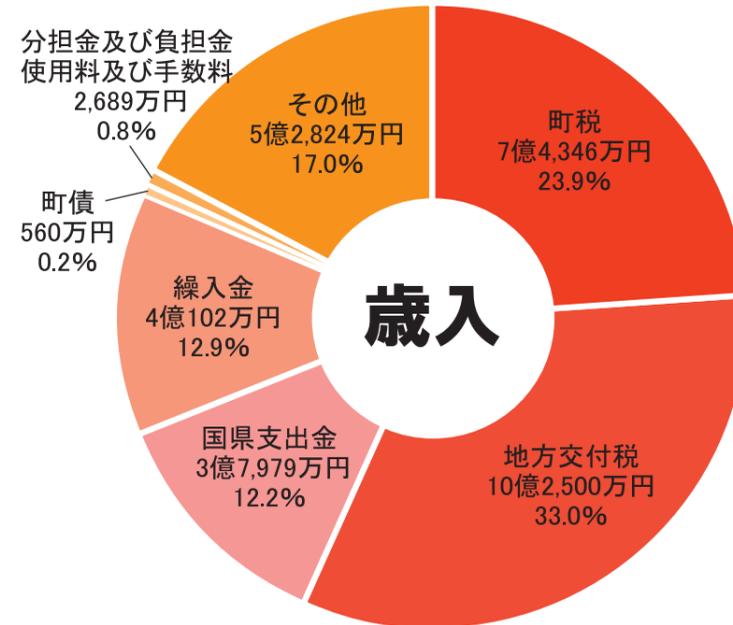
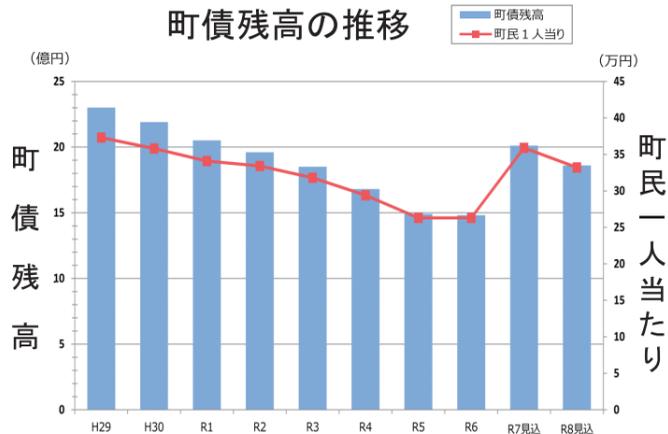
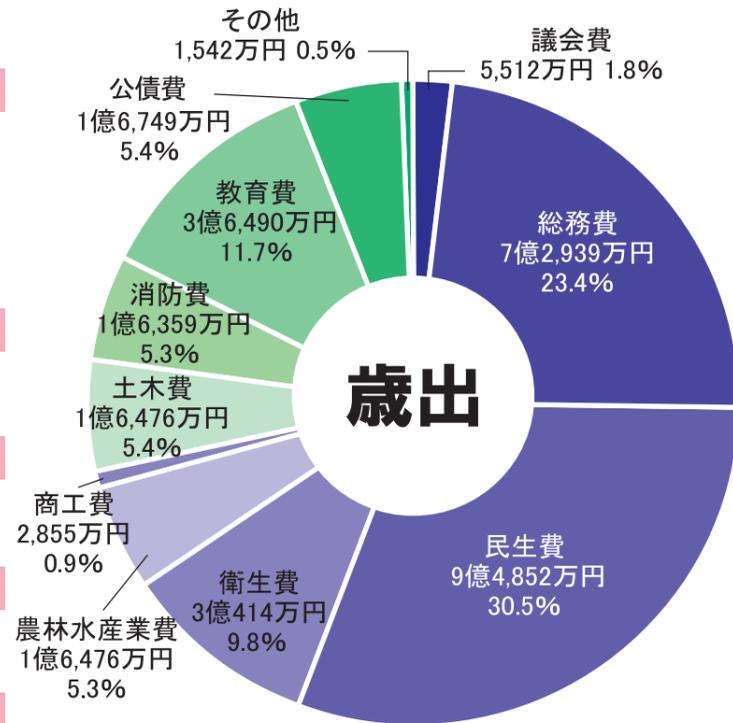
「子育て支援」として、「子ども医療費助成事業」や学校給食の全額助成、保育料無償化、子育て支援費給付金事業など、「子育てするなら神崎町で！」と実感してもらえるよう、町独自の支援をこれからも展開していきます。

また、公共施設の長寿命化対策として、神崎ふれあいプラザの空調機改修工事の費用を計上。年数の経過した公共施設を長く安全に利用できるように、財源対策として基金を活用しながら計画的に改修事業を行います。

令和8年度の主な事業

単位：万円

総務費	
●「発酵×オーガニック」によるプロモーション支援業務	800
・移住定住者支援事業	831
・家庭用防犯カメラ設置補助金	100
●ふれあいプラザ改修事業	9,416
民生費	
・福祉タクシー利用助成事業	616
●乳児等通園支援事業	159
衛生費	
・子ども医療費助成事業	2,162
・予防接種事業委託業務（拡充分）	90
農林水産事業費	
・担い手育成支援事業（スマート農業等）	500
●地場産品普及事業補助金	200
商工費	
・発酵文化推進事業	780
土木費	
・町道成田神崎線道路新設事業	5,109
・町道毛成堀籠線道路改良事業	2,860
・道路新設測量設計委託業務	
●空家等対策関係業務	612
消防費	
●防災ハザードマップ作成業務	411
教育費	
●神崎中学校校舎空調機修繕事業	
・教育用パソコン使用料（GIGAスクール）	2,541
●は新規事業	



特別会計	国民健康保険		7億3,200万円	(▲0.4%)
	後期高齢者医療		1億2,300万円	(+14.3%)
	介護保険		7億1,400万円	(+0.1%)
	合計		15億6,900万円	(+0.9%)
()は前年度比				
水道事業会計	収益的	収入	2億2,318万4千円	(▲0.3%)
		支出	2億1,566万9千円	(+1.2%)
	資本的	収入	2,500万3千円	(+83333.3%)
		支出	7,433万4千円	(+29.1%)
()は前年度比				

31億1,000万円

一般会計予算

『まちの活性化』と『子育て支援』に重点配分
地域の力で創る、これからの神崎町